

日本経済新聞社 主催

「NIKKEI 未来社会共創コンテスト」募集要項

【企画趣旨】

2025 年大阪・関西万博の開催がよいよ来春に迫ってきました。「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマの本万博は、新型コロナウイルス感染症のような世界的なパンデミックや、地球環境問題、世界各地での紛争など、さまざまな難しい局面を経験しながらも、世界の人々と「いのち」について考えるきっかけを作ることを目指し、大阪で開催されます。一人ひとりのいのちが輝く未来社会、それは次世代を担う若者たちを抜きには語れません。

しかし一方で、必ずしも万博については、明るい話題ばかりではなく、建設の遅れを心配するような暗い話題も目立ちます。また、実際に万博の作り手側は企業や国の関係者など大人が中心となってしまう、これではますます若者たちの関心は遠のいてしまいます。

日本経済新聞社では、大阪・関西万博会会期中に開催される「テーマウィーク」にブロンズパートナーとして協賛しています。また、さまざまな社会課題に対して、考え、活動を行っている Z 世代の学生たちを応援し、万博を契機に Z 世代と企業が交流するための取り組みを行ってきました。昨年 9 月の日経 EXPO フォーラム大阪では、Z 世代の学生が企業とともに登壇し、万博について議論を交わしました。また、今年 2 月には万博の情報発信をするサイト「NIKKEI 未来社会共創 ENGINE」を開設し、学生らが万博について取材・執筆し、万博について知り、考える機会を提供しています。今年の 6 月からは、BANPAKU ゼミと題して、約 70 名の大学生に定期的に学びの場を設け、社会課題解決のための活動をブラッシュアップする支援をしています。

そして、いよいよ来年の万博期間中に、会場内のイベントスペースから若者たちに持続可能な未来社会へ向けた想いや取り組みを発表してもらう「NIKKEI 未来社会共創コンテスト」を立ち上げます。

コンテストでは、大阪・関西万博で設定されているテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」のように、持続可能な社会を実現するための取り組み・アイデアを募集し、書類審査を通過したファイナリストを約 12 組選出、2025 年 2 月に開催予定の最終審査会にて発表いただきます。受賞団体／個人へは、大阪・関西万博のテーマウィーク会場での登壇機会を提供し、大阪・関西万博を契機に活動の幅を広げ、企業と学生の共創あるいは学生同士の共創を生むきっかけとして活用いただくことを期待します。

社会課題に関心が強く、意欲ある全国の学生のみなさま、ご応募を心よりお待ちしております。

【募集テーマ】

大阪・関西万博で設定されているテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」のように、
持続可能な社会を実現するための取り組み・アイデア

【募集対象】

(1) (2) の両方に該当する者とする

(1) 以下①・②いずれかに該当する者

- ①社会課題解決に向けて取り組みを行う大学生、大学院生、学生団体、学生起業家
- ②社会課題解決に向けて具体的なアイデアを持つ大学生、大学院生、学生団体、学生起業家

(2) 2025年4月時点で学生である者

(団体の場合は2025年4月に学生であるものが最低一人、発表者に含まれること)

【審査基準】

(1) 想い・理念

(2) 持続可能性

(3) ソーシャルインパクト

(一例として、〇〇と共創することや、どのようなことを生み出せるのか、生み出したいのか)

【審査方法】

応募書類にて書類審査を実施し、ファイナリスト約12組を決定します。

その後、ファイナリストによるプレゼン発表にて最終審査会を行い、各賞を決定します。

【表彰内容】

最優秀賞・企業賞を受賞した学生団体／個人へは、大阪・関西万博のテーマウィーク会場での登壇機会を提供します。

日経未来社会共創コンテスト	最優秀賞	1団体／個人
	企業賞	2－3団体／個人
	奨励賞	1団体／個人

【全体フロー】

STEP 1：コンテストへの応募

募集要項をお読みいただき、指定の応募フォームにてご応募ください。

多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

(応募期間：2024年12月1日(日)～2025年1月15日(水))

STEP 2：書類審査

応募書類による書類審査を行い、通過者としてファイナリスト約12組を決定します。

ファイナリストは「STEP 3：最終審査会」にお進みいただきます。

(ファイナリストは2025年1月下旬に発表予定)

STEP 3：最終審査会

審査委員、特別協賛企業に向けてプレゼンテーションを行い、各賞の受賞者を決定します。

当日は審査会に加え、企業ポスターセッション・懇親会も実施予定です。

(2025年2月中旬に大阪にて開催予定)

STEP 4：準備期間

最優秀賞・企業賞受賞団体へは、テーマウィーク会場における発表内容について準備していただきます。

(2025年2月～7月予定)

STEP 5：大阪・関西万博テーマウィーク会場での発表

大阪・関西万博テーマウィーク会場にて、活動内容について万博会場で発信してもらうことで活動の裾野を広げるきっかけにさせていただきます。

(2025年7月予定)

【審査員】

蟹江 憲史 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授、慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ代表
菊川 人吾 経済産業省 イノベーション・環境局長
山中 哲男 株式会社トイトマ 代表取締役社長
山野 千枝 一般社団法人ベンチャー型事業承継代表理事

【応募方法】

◇応募期間 2024年12月1日（日）～2025年1月15日（水）23:59まで

◇提出書類

<https://expo2025.nikkei.co.jp/contest/> 内「応募ページ」から、必要事項を記入のうえ、応募ください。
任意で参考資料の提出が可能です（PDF形式、5000KBまで）

【主催・後援】

主 催：日本経済新聞社

後 援：経済産業省

【お問い合わせ】

日経未来社会共創コンテスト事務局（株式会社横田アソシエイツ内）

URL：https://www2.entryform.jp/expo2025_inquiry/

※お問い合わせは、お問い合わせフォームでのみ受け付けております。（平日 10-17 時対応）

【表明保証】

応募者は次のすべての事由について表明・保証する必要があります。

1. 応募の際の登録情報および他の機会における日経への説明内容に、虚偽または不正確な情報が含まれていないこと
2. プレゼンテーション内容および資料が、他者の著作権および肖像権その他の権利を侵害していないこと
3. 暴力団、暴力団関係企業、総会屋若しくはこれらに準ずる者またはその構成員等でないこと、および、これらの反社会的勢力を利用しないこと
4. 未成年の方は、本コンテストへの応募について親権者の同意を得ていること
5. 顔写真、所属大学、所属校などのプロフィール等ならびにプレゼン登壇時の写真等が掲載されることについて了解し、これにつき親権者（未成年の場合）、および、所属する学校等（必要な場合）から了解を得ていること。

【個人情報】

1. 日経は応募者の個人情報を、本コンテストに関するご連絡などの目的で「日本経済新聞社の個人情報の取り扱い」に従って取り扱います。また審査のため、審査員に対し応募者の氏名等を提供させていただきます。
2. ファイナリストに選出された場合、応募項目フォームに記入された応募名称およびプロフィールを、日本経済新聞社が発行・運営する新聞・本コンテスト公式ウェブサイト等に掲載します。応募者の個人氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属学校名等は、応募者個人本人の同意がない限り、掲載されることはありません。

★日本経済新聞社の個人情報の取り扱い：<https://www.nikkei.co.jp/nikkeiinfo/privacy/about.html>

【応募資格の取消】

応募者が次の各号のいずれかに該当したと日経が合理的根拠に基づき判断した場合、日経はただちに当該応募の応募資格を取り消します。

1. 応募者が本募集要項に違反した場合
2. 応募者が日経からの連絡に返答しない、および、合理的理由なく期限までに求められた作業を行わないなど、本コンテストの開催に非協力的である場合
3. 応募者の素行が不良など、本コンテストの応募者としてふさわしくない場合
4. その他、日経および本コンテストに対する背信行為があった場合

【注意事項】

- ・ファイナリストは、2025年2月中旬の最終審査会に出席する必要があります。（団体での応募の場合、出席は代表者でなくても構いません。また、開催日は予定につき変更する場合があります。）
- ・応募者が反社会的勢力と一切関係がないことを応募の条件とします。
- ・原則として、応募後の取りやめはできず、提出された応募書類並びに参考資料は返却しません。
- ・一次審査を通過した個人や団体の発表は2025年1月下旬頃に公式ウェブサイト（<https://expo2025.nikkei.co.jp/contest/>）で発表する予定です。
- ・一次審査を通過した個人や団体には、事務局から連絡します。個別のお問い合わせにはお答えできかねます。
- ・審査内容や結果に関するお問い合わせにはお答えできません。
- ・審査の結果、各賞の該当がない場合があります。
- ・応募書類の記載内容や画像イメージなどは主催者が行う本表彰関連の広報活動に活用させていただきます（日本経済新聞、日経電子版、日経 BizGate など日経グループ媒体での特集掲載など）。

- ・提出された応募書類に関する著作権は応募者に帰属しますが、日本経済新聞社は、紙面・電子版での記事化等に必要な範囲において、応募書類に含まれる内容を無償で利用できるものとします。
- ・応募内容に含まれる産業財産権、著作権、知的財産権等については、関係する企業・団体等とも協議の上、予め必要な出願等を行うかまたはインターネットおよび紙面等で公開しても差し支えない情報、著作権、知的財産権等の範囲で応募書類を作成してください。
- ・日本経済新聞社および協賛企業は、応募書類に含まれる知的財産権に関する紛争には関与いたしません。
- ・一次審査を通過した場合、応募者名や応募内容のタイトル名を本コンテストのサイト、SNS にて公開します。またセミオープン形式での最終審査会で応募内容の発表を行っていただきます。本コンテストにおける応募内容等の取り扱いをご理解いただいたうえで、公開を希望されない応募内容等に関しましては、本コンテストにおいて応募、開示されぬよう十分にご留意ください。
- ・応募者には日本経済新聞社が行う関連イベントなどのご案内等をお送りする場合があります。

以上